

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会だより

発行／彦根市馬場一丁目1番1号 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会 発行責任者／戸田 茂
URL: <https://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters.html>

後援会会長・学部長等挨拶	1～2	就職活動と支援・就職状況	8～9
卒業式	2～3	進学先・就職先一覧	10～11
入学式	4	資格取得等報奨制度	12
入学状況	5	令和2年度決算・後援会総会	13
大学紹介	6～7	令和3予算年度・役員名簿	14
学生生活活動だより	8	令和3年度学年暦・行事	15～16

会長挨拶 後援会会長 戸田 茂



戸田後援会会長

多くの皆様は、卒業式・入学式を執り行うことができ、対面授業も昨年より増やすことができました。私事ですが、私

失から、将来への不安が重なっている「状況にあつて、「今の自分の立ち位置は果たして正しいのか」、「自分は何を失っているのか」等々の思いで孤立感が深まりやすい渦中にあります。しかし大丈夫です。職員皆さんの相談体制は整っています。学生諸君もご家族も積極的に交流をしてください。

学生は自らコントロールできる多くの時間で、専門性の深堀ができます。オンライン授業の良さを認識して修学に打ち込めます。課外活動で知り得た友人と情報交換を重ねることがができます。

ご家族は学生の自立の歩みを看守ってください。

経済学部長挨拶

中野 桂

昨年の2月ごろから始まった新型コロナウイルス感染症への対応は、3度目の緊急事態宣言の発令などを経て、2年目に突入しています。幸いにも今春は卒業式・入学式を執り行うことができ、対面授業も昨年より増やすことができました。私事ですが、私

の次男も昨年京都の大学に入学し、現在2年生です。自身も大学生の保護者として気がついたのは、大学教員も保護者も学生の修学機会と安全をともに確保したいという気持ちは同じだということです。正解が容易に見出せない状況で、苦渋の判断を迫られる時があるかもしれません。が、ご理解をいただければ幸いです。

データサイエンス学部長挨拶

竹村 彰通

データサイエンス学部設立から4年が過ぎ、この3月に1期生が卒業しました。就職及び進学の実績においても大きな成果が得られ、社会からのデータサイエンス学部に対する評価も確立していくと思います。また、学部1期生のうち2割がデータサイエンス研究科博士前期課程（修士課程）に進学し、さらに専門性を高めていきます。コロナ禍の中でもデータサイエンスに対する社会からの需要はあいかわらず強く、データサイエンス学部ではスタッフを強化し企業連携を拡大しています。これにより日本におけるトップランナーとしての位置を保ちたいと思っています。

経済学部副学部長挨拶

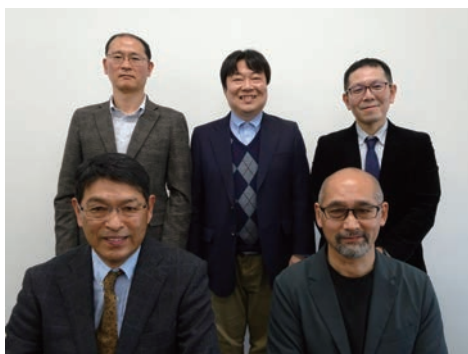
総務・企画担当 金 秉基

現在、大学の教育研究はデジタルによる大転換を迎えています。社会が求める教育研究の変化に応じて、

学位授与の方針や教育課程編成など、学部の改組・整備を推進していきます。カリキュラムにおいては、専門教育の基礎となる教養教育と、経済経営社会関連分野の数理・データサイエンス教育の充実化、グローバル人材育成に向けた学部改組を指します。

学務・学生生活担当 坂田 雅夫

今年度、学務・学生生活を担当いたします。コロナ禍の大学生活も二年目となりました。今学期の授業は原則対面を掲げ始めました。早速、コロナ第四波といわれ情勢は厳しくなっておりますが、対面とオンラインを組み合わせて行われるハイブリッド授業導入などを通じて、コロナ禍においても学びを止めず、なおかつ学生生活の楽しさを維持できるように努めて参ります。



後列 金 坂田 宗野 各副学部長
前列 増山副研究科長 中野学部長

入試・広報担当 宗野隆俊

本学部は、全国から多数の志願者を集めてきましたが、受験人口の減少や新型コロナウイルス禍での地元志向の強まりなど、入試をめぐる環境は厳しさを増しています。不安な要素は多々ありますが、このような時こそ基本を大切にしたいと考えています。まずは、日々の入試業務に真摯に取り組み、社会の信頼に応える。これが、私たちに求められていることであると思います。

**大学院経済学研究科
副研究科長挨拶 増山裕一**

本年度、副研究科長を担当いたします。経済学研究科におきましては、滋賀大学の伝統や強みを生かし、文理融合の観点から、自らデータを分析した結果をもとに戦略的な意思決定できる人材育成を目指して、1年間で大学院前期課程を修了できるビジネス・データサイエンス専修プログラムが始まります。皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

**データサイエンス学部
副学部長挨拶**

総務・企画担当 佐藤正昭

この四月から総務・企画担当を拝命しました。ハイ・フレックス授業に対応した教室も整備され、学びの環境もますます充実してきていま

す。教育の質保証の面にも注力しながら、データサイエンス教育の先導役、拠点として、滋賀大学の務めを果たしてまいります。これからもご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

学務学生生活担当 市川治

今年度より学部学生の学務と学生生活を担当いたします。データサイエンス学部では、2021年3月に学部1期生と修士1期生が卒業し、社会へ、そして進学先へ羽ばたいていきました。卒論発表会・修論発表会では、大変優秀な内容で発表が行われたことを申し添えておきます。このモーメントを継続すべく、引き続き本学学生へのご支援をいただければ幸いです。



後列 佐藤 市川 各副学部長
前列 清水副研究科長 竹村学部長 椎名副学部長

入試・広報担当 椎名洋

昨年度に続き、入試・広報担当の副学部長を拝命いたしました。データサイエンス学部の社会での知名度は着実に広まっていますが、高校生の間ではまだまだこれからという感じもしています。「情報I」の必修化もあり、高校生の間でデータサイエンスがより身近になっていくことが予想されますが、それに対応して入試も変えていかなければならないと感じています。

**大学院データサイエンス研究科
副研究科長挨拶 清水昌平**

昨年度、日本初の修士（データサイエンス）をもつ修了生を送り出しました。博士後期課程についても、2年後には日本初の博士（データサイエンス）をもつ修了生が生まれる見込みです。育成人材像である「データサイエンスに関する新たな基盤技術を生み出し、新たな価値創造の「場」の開拓につなげることができる」人材として育ててもらえればと思います。



3月26日（金）滋賀大学卒業証書・学位記、大学院研究科学位記、特別支援教育専攻科修士証書授与式を挙行しました。式典は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3会場（教育学部・大学院教育学研究科・特別支援教育専攻科はびわ湖ホール、経済学部・大学院経済学研究科はひこね市文化プラザ、データサイエンス学部・大学院データサイエンス研究科は本学講堂）に分かれて挙行され、式典への参加は卒業生及び修了生のみとし、保護者の方等へはライブ配信を行いました。

今年度は、全国初のデータサイエンス学部卒業生94名、大学院データサイエンス研究科（博士前期課程）



会場の様子(滋賀大学講堂)

23名のほか、教育学部239名、経済学部501名、大学院教育学研究科修士課程35名、大学院教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）16名、大学院経済学研究科博士前期課程18名、特別支援教育専攻科8名の合計934名が本学を巣立ちました。

それぞれの会場で位田学長から学部、大学院、専攻科の代表者への卒業証書等の授与に続き、学長式辞で卒業生へはなむけの言葉が贈られたのに続いて、在校生代表からお祝いと感謝の言葉、また、卒業生代表から今後の決意と教職員、在校生への感謝の言葉が述べられました。データサイエンス学部の卒業式が挙行された講堂では、一般社団法人データサイエンス協会代表理事の草野隆史様よりビデオにてはなむけのお言葉を頂いたほか、最後に竹村彰通学部長自ら、ピアノの生演奏（曲目：幻想即興曲（シヨパン））で卒業生を送り出しました。



位田学長からの式辞



竹村学部長によるピアノ演奏

なお、卒業式におきましては、学部、大学院、専攻科から特に学業成績が優秀だった方が代表者として卒業証書等の授与を受けるとともに、学部において在学期間中に最も優れた学業成績を挙げられた方は学業成績優秀者学長賞の表彰を受けられることとなっています。

代表者及び学業成績優秀者に選ばれることは、非常に名誉なことでありますとともに、それぞれの方々の不断の努力に敬意を表しまして、以下にご紹介させていただきます。

卒業証書等授与代表者

教育学部

学校教育教員養成課程 松村 温子

経済学部

ファイナンス学科 鶴田 瞳

データサイエンス学部

データサイエンス学科 芝 賢侃

大学院教育学研究科

修士課程 学校教育専攻 世古 直輝

大学院教育学研究科

専門職学位課程 高度教職実践専攻

松田 愛

大学院経済学研究科

博士前期課程 経済学専攻

青木 吉史

大学院データサイエンス研究科

博士前期課程 データサイエンス

杉山 聖貴

専攻

特別支援教育専攻科 伊吹 晶子

障害児教育専攻

教育学部

学校教育教員養成課程 高木 誠

経済学部

会計情報学科 清澤 英正

データサイエンス学部

データサイエンス学科 芝 賢侃

また、大学HPに卒業生・修了生の皆様への学長メッセージが掲載されていますので、以下のQRコードからアクセスし、ぜひご覧ください。



経済学部・DS学部同窓会から卒業する皆様へのメッセージ

経済学部・データサイエンス学部同窓会「一般社団法人 陵水会」様より、卒業する学生に向けてビデオメッセージを制作いただきました。

例年、陵水会様からは卒業という門出を祝って、卒業祝賀会を開催いただいておりますが、昨年度に続き今年度も新型コロナウイルスの影響で開催することが出来なかつたため、メッセージビデオの形ではなむけをいたしたものです。

大学HPにて公開しておりますので、以下のQRコードからアクセスし、ぜひご覧ください。



令和3年度入学式

4月5日(月) 大津市の「びわ湖ホール」において、令和3年度滋賀大学入学式を挙行了しました。今年度は、教育学部243名、経済学部484名、データサイエンス学部100名、大学院教育学研究科専門職学位課程20名、大学院経済学研究科博士前期課程22名、大学院経済学研究科博士後期課程3名、大学院データサイエンス研究科博士前期課程43名、大学院データサイエンス研究科博士後期課程3名、特別支援教育専攻科9名の総計927名が、学生生活の新しいスタートを切りました。なお、今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学部(3学部を2グループ)と大学院に分散して開催するとともに、式典の参加は新入生のみとし、保護者の方等へはライブ配信を行いました。

式典は、まず教育学部・データサイエンス学部の入学式を行いました。入学生を代表して教育学部の守崎大也さんが宣誓を行いました。続いて位田学長から「学生生活を通じて、Shiga University Spiritを養いきらきら光り輝くことを期待します」と式辞がありました。

その後、大学院と特別支援教育専攻科の入学式を行いました。入学生



位田学長からの式辞

を代表して大学院経済学研究科の李静さんが宣誓を行い、「学則を守り学生の本分を尽くすこと」を誓いました。続いて位田学長から「皆さんが、研究を通じて、琵琶湖に映える陽の光のように、きらきらと光り輝くことを期待しています」と激励の式辞がありました。

最後に、経済学部の入学式を行いました。入学生を代表して経済学部の鈴木滉平さんが宣誓を行い、位田学長から式辞がありました。

在学生からは歓迎の言葉が述べられ、入学を祝しました。入学生は、これから始まる大学生活への期待に胸を膨らませていました。

なお、大学HPに新入生の皆様への学長メッセージ(式辞)が掲載されていますので、以下のQRコードからアクセスし、ぜひご覧ください。



大学院・
特別支援教育専攻科



経済学部



教育学部・DS学部

令和2年度入学生の集い
1年後の入学式

令和3年4月6日(火) 彦根キャンパスの滋賀大学講堂において、新2回生となった経済学部生・データサイエンス学部生・大学院経済学研究科生・大学院データサイエンス研究科生を対象に、令和2年度入学生の集い(1年後の入学式)を挙行了しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策として3部制で行われた式典には総勢約230名が参加され、連携企業様等から寄贈された花々に囲まれた華やかな雰囲気の中、位田学長の挨拶に始まり、中野経済学部長及び竹村データサイエンス学部長の挨拶、続いてオーケストラ部による演奏とチアダンス部によるパ

フォーマンスの歓迎セレモニーが行われました。

式典後は少人数グループに分かれて学生交流会を実施し、初めて顔を合わせる同級生もいる中で、密を避けながらも会話に花を咲かせていました。

また、式典及び学生交流会の終了後、学生の皆さんは、講堂内や入学式の案内立て看板を背景に記念撮影を楽しんでおられました。

様々な制約の中で学生生活を送らざるを得なかった昨年度の入学生の皆さんに、改めて本学に入学されたことの祝意をお伝えするとともに、新たな気持ちで新学期をスタートしていただくための一つの区切りになったことと思います。

皆様におかれましては、学長、学部長からの激励の言葉を胸に刻んでいただき、これからの学生生活を通じて大きく成長されますことを期待しております。

また、大学HPに令和2年度入学生の皆様への学長メッセージが掲載されていますので、以下のQRコードからアクセスし、ぜひご覧ください。



経済学部・研究科



DS学部・研究科



学生交流会の様子



オーケストラ部の演奏



チアダンス部のパフォーマンス



令和3年度 入学状況

入学試験状況

学 部 名	定員	志願者	受験者	合格者	入学者	
経済学部	中間主コース	410	2,548	1,428	483	411
	夜間主コース	50	86	83	50	44
	3年次編入	20	105	105	33	25
データサイエンス学部	100	408	299	109	100	

【大学院】

研 究 科 名	定員	志願者	受験者	合格者	入学者	
経済学研究科	博士前期課程	32	51	47	28	21
	博士後期課程	3	3	3	3	3
データサイエンス研究科	博士前期課程	40	53	53	45	43
	博士後期課程	3	3	3	3	3

滋賀大学入学者一覧

経済学部		480(*)	
データサイエンス学部		100	
教育学部		243	
大 学 院	経済学研究科	博士前期課程	21
		博士後期課程	3
	データサイエンス研究科	博士前期課程	43
		博士後期課程	3
	教育学研究科	教職大学院	20
特別支援教育専攻		9	
入学者合計		922(*)	

* マレーシア政府派遣留学生4名は外数

都道府県別入学者数

【経済学部(3年次編入は除く)】

北海道	4	0.9%	福井県	18	4.0%	和歌山県	1	0.2%	熊本県	2	0.4%
山形県	1	0.2%	長野県	2	0.4%	鳥取県	1	0.2%	大分県	1	0.2%
福島県	1	0.2%	岐阜県	34	7.5%	島根県	1	0.2%	宮崎県	2	0.4%
茨城県	1	0.2%	静岡県	12	2.6%	岡山県	9	2.0%	鹿児島県	1	0.2%
栃木県	1	0.2%	愛知県	74	16.3%	広島県	2	0.4%	沖縄県	3	0.7%
埼玉県	2	0.4%	三重県	15	3.3%	徳島県	1	0.2%	留学生	11	2.4%
東京都	1	0.2%	滋賀県	57	12.6%	香川県	4	0.9%	その他	1	0.2%
神奈川県	2	0.4%	京都府	49	10.8%	愛媛県	1	0.2%			
新潟県	1	0.2%	大阪府	52	11.5%	高知県	3	0.7%			
富山県	11	2.4%	兵庫県	47	10.4%	福岡県	3	0.7%			
石川県	9	2.0%	奈良県	11	2.4%	長崎県	3	0.7%	合計	455	100.0%

【データサイエンス学部】

茨城県	1	1.0%	静岡県	3	3.0%	和歌山県	1	1.0%	鹿児島県	2	2.0%
群馬県	2	2.0%	愛知県	11	11.0%	島根県	2	2.0%	沖縄県	2	2.0%
東京都	1	1.0%	三重県	1	1.0%	岡山県	1	1.0%			
新潟県	2	2.0%	滋賀県	19	19.0%	広島県	2	2.0%			
富山県	1	1.0%	京都府	17	17.0%	徳島県	1	1.0%			
福井県	1	1.0%	大阪府	10	10.0%	愛媛県	1	1.0%			
長野県	1	1.0%	兵庫県	1	1.0%	福岡県	2	2.0%			
岐阜県	10	10.0%	奈良県	4	4.0%	長崎県	1	1.0%	合計	100	100.0%

大学紹介

経済学部の現況

経済学部長 中野 桂

〈入学者選抜の状況〉

今年度の入学者数は昼間主が41名(定員410名)、夜間主が44名(定員50名)となりました。また3年次編入は25名(定員20名)でした。

今年度から前期日程の入学定員を150名から172名に変更し、後期日程の入学定員を200名から150名に変更しました。この前期日程と後期日程を合わせた一般選抜の定員322名に対して、志願者数は2376名で、受験者数は1259名、合格者数は397名でした。受験者数に対する合格者数でみた倍率は前期日程の国外型で3.3倍、数外型で2.0倍、後期日程の国外型で3.7倍、数外型で3.9倍となりました。今年度から導入した総合型選抜は十分な認知が得られなかったのか、志願者が低迷をしました。

昼間主における志願者の内訳を見ると、志願者数の多いのは上から、愛知県15.9%、大阪府13.4%、京都府13.1%、滋賀県10.9%、兵庫県9.6%、岐阜県

5.7%で、これらの府県で全体の7割近くを占めます。入学者数については、愛知県18.5%、滋賀県13.3%、京都府11.8%、兵庫県10.5%、大阪府10.5%、岐阜県7.3%で7割以上を占めます。近畿地区と中部地区という分け方で見ると、近畿が47.5%、中部が32.8%となり、彦根の地理的条件をよく表す結果となっています。

〈新型コロナウイルス感染症への対応〉

大学全体の方針としては対面授業を原則とするという形で、春学期はスタートしています。教室については、入試時と同じように一列ごとの配置とし、学生がどこに座ったかを全ての対面授業で把握するなどして、万が一感染者が発生したとしても適切に対応できるようにしています。原則は対面授業ですが、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、ハイブリッド型授業(対面授業をライブ配信)やオンライン授業なども利用するなど、学生の皆さんの健康と安全を考えつつ、学修機会の保障に努めています。

経済学部では今年度の入学生に対しては、ノートパソコンの携帯を強く推奨いたしました。新型コロナウイルスによる影響が既に2年目ということもあり、新入生に対するアンケートでは96.3%の学生がノートパソコンを所持していると回答しています。自宅(下宿等を含む)ネット環境に

ついては、やはり96%の学生が授業を受ける環境があると回答しています。滋賀大学では学内のWiFi環境も昨年度来強化をしておりますし、必要な学生にはパソコンの貸し出しなど行い、引き続き、全ての学生の学修機会が十分に確保されるように取り組みたいと思います。

〈課外活動の状況〉

新型コロナウイルス禍ではありますが、昨年度においても部活等に参加する学生の数は例年並みでした。今年度については、現時点ではまだ把握をできていませんが、全面オンラインだった昨年度春に比べて、対面授業も増え、キャンパスにおける学生の往来もありますので、おそらくは例年並みになることが期待されます。

部活加入率については大きな変化はなくても、活動そのものは残念ながら制約を受けています。特に、3回目の緊急事態宣言が出される状況の中で、現在はオンラインによるミーティングや特別に許可された活動を除いて、原則禁止となつています。6月に予定されていた和歌山大学との定期対抗戦(滋和戦)についても中止の方向です。

〈経済学部の将来構想について〉

今年度は第3期中期目標計画期間(2016-2021年)の最終年度にあたります。現在、2022年度から始まる第4期中期目標計画の

策定にあたっては、その中で、経済学部は学部改組を行い、広くさまざまな分野を学んだのちに個々の専攻分野を選択するレイトススペシャライゼーションの導入を検討しています。

また、それに先立ち、大学院では社会人向けの1年制コースとして「ビジネス・データサイエンス専修プログラム」を来年度からスタートさせる予定です。

経済学部(大学院を含む)では、今後も学生の皆様が豊かな人生を歩んでいけるような教育プログラムを提供していきたいと考えています。



キャンパス内に設置された自主学習スペース

Wi-Fi環境も充実し、オンライン授業もここから参加できます

データサイエンス学部の現況

データサイエンス学部長

竹村 彰通

わが国初のデータサイエンス学部が滋賀大学に誕生してから4年が経過し、この3月には1期生が卒業しました。就職実績においても卒業研究においても、本学部の教育方針を反映した成果が得られたものと考えています。また企業等との連携も進めており本学部はさらなる前進を続けています。

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴って企業の採用活動の遅延や、内定数の減少などがあり、1期生の就職活動に少なからず影響がありました。データサイエンス学部1期生の注目度は高く、概ね就職活動は良好に進みました。特に、積極的にインターンシップに参加していた学生については、インターンシップ先の企業に好印象を持っていただき就職活動のエントリーを勧められたケースもあり、実際にそれらの企業に就職した学生も数多くいます。また、独自で起業し、データサイエンス業務を行っている学生もおり、各種メディアにも取り上げられました。本学部の注目度は年々高まっており、2期生に対しては1期生の時にはほとんど見られなかった各企業からの学校推薦の依頼が急増しており、現在50社近い企業より問い合わせがきています。



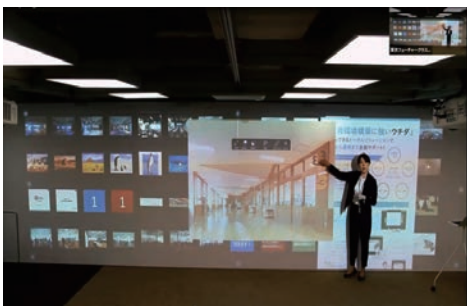
在学中に大学発ベンチャーの認定を受け「合同会社mitei(ミテイ)」を設立した
井本望夢さん(中央)

次にゼミ活動について近況を報告いたします。学部生は2年間、修士生は1年半の期間のゼミ配属があります。それぞれのテーマで研究を進めています。その集大成として卒業研究・修士論文発表会が2021年2月に行われました。どちらも1期生であり、私たち教員にとっても4年間あるいは2年間の教育の成果を問われる重要なイベントでした。結果として内容はとても満足のいくものでした。特に、企業の実データを使った分析を進め、その企業に施策を提案し、さらに実施に結び付けたという発表が複数ありました。また、研究型の発表にも優秀なものも多くあり、複雑な数学を駆使した研究、高度なITや深層学習を応用した研究が目を見せました。分野的にも防災・公共・ヘルスケア・スポーツ・交通・製造・金融・流通など岐にわたっており、データサイエンスがインダストリーの横串であると

いうことが再確認されました。

また、学部設立から4年が経過し、その間に社会はAIにより傾斜を深めています。そのため、AI時代への対応を深化させるために新カリキュラムに移行し、今年度入学の学生から適用になります。

さらに、大学院進学に関してこの4月には定員を20名から40名に一気に倍増するという大きな変化がありました。多くの他大学の大学院で定員が埋まらない現況を鑑みると、若干不安な点もありましたが、結果的に43名が入学しました。特にデータサイエンス学部1期生の内部進学者が20名あり、この学生たちは学部の教育を4年間受けた後で再度滋賀大学を選んでくれた「リピーター」であり、学部の教育に対して一定の評価をしてくれたわけで、我々にとっては嬉しいことでありました。



大学院拡充に伴い演習室を整備

最後に、学生諸君の学外との関りについて紹介します。1年次の必修科目「データサイエンス入門演習」において、滋賀県大津市の行政の課題解決にデータ分析がどう役立てられるかを履修生が提言しました。統計数理研究所と共催した「大学生のための医療統計学」のプログラムには和泉志津恵研究室のゼミ生が参加しました。また清水昌平教授、浅原啓輔助教とデータサイエンス学部4回生が日東電工株式会社茨木事業所を訪問し、因果探索に関する共同研究の打ち合わせを行いました。

学外のコンペティションでも多くの学生が活躍しました。日本経済新聞社主催のData Society Fest2020の学生Lightning Talk大会で、本学部4年生が準優勝しました。NEC主催の分析コンペティション「NEC Analytics Challenge Cup 2020」にて、全国から99チームが参加する中、本学部から参加したチームは、予測精度コンテスト・オフィス街部門で最優秀賞を獲得し、他に2チームが優秀賞を獲得しました。またアイデアコンテスト部門においても2チームが優秀賞を獲得しました。

以上、データサイエンス学部の最近の発展についてご紹介しましたが、我々スタッフも全力で本学部のさらなる発展に努めてまいりますので、今後とも、後援会の皆様方の変わらぬご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

学生活動だより

滋賀大学学長賞について

令和3年3月19日、彦根キャンパス学長室において、令和2年度滋賀大学学長賞授与式を行いました。

授与式では、学生支援課より選考結果の概要について説明があり、位田学長からデータサイエンス学部の小林弥奈さん、近藤大貴さん、ソフトテニス部、バレーボール部に表彰状と楯、副賞が授与されました。なお、バレーボール部、ソフトテニス部については、令和元年度第4回学長賞で選考されましたが、新型コロナウイルス感染症により今回の授与大学の名誉を大いに高めた功績によるものです。

山下悠ゼミナールYOSについては、当日、都合により欠席されましたので、後日表彰される予定です。今回受賞された団体等と受賞理由については以下のとおりです。(彦根キャンパスの学生関係のみ)

- DS学部 小林弥奈、近藤大貴、問宮夕貴
- スポーツデータ解析コンペティション・ポスター部門 奨励賞

山下悠ゼミナール
Student Innovation College
秋カン大会 優勝



学長と受賞されたDS学部生

就職支援について

教育・学生支援機構 特命教授 入江 直樹

この未曾有のパンデミックウイルスによる非日常が一年以上続いている中での就職活動は学生にとっても我々にとっても、また採用する側にとっても初めての体験となりました。本年3月の卒業生は突然の出来事で、劇的に変わった環境への対応に多くの時間と手間を要しました。

就職活動と支援

今就職活動を行っている学生は一年前に新たな環境での対応を迫られ、今はそれへの順応を求められております。これまでの常識が非常識に、当たり前前のが手の届かないことになる、だれもがそのような経験をしているのではないかと思います。このような環境では実質的な支援に加えて精神的な拠り所となりサポートしていく必要があると考えます。様々な手段を用いてできるだけ多くの学生とつながること、それを大きな使命として新たな時代を迎え撃ち、高い成果を挙げるよう努めて参ります。後援会の皆様におかれましてはこれまで同様ご支援ご指導賜りますようお願い申し上げます。

就職支援体制

各種セミナーの実施

就職活動のために必要な情報は様々なルートで入手することができず。しかしその情報には信頼度の高いものから何ら根拠のない虚偽のものまで多種多様化しております。学生が偏った情報によって進路を選択し決定しないように大学から正しい信頼度の高い情報を発信しております。その内容は①情報入手のための媒体の選び方②業界研究③履歴書・エントリーシートの書き方④個人面接対策⑤グループワーク対策⑥自己分析セミナー、などを実施しております。また航空業界など特別な対

応が必要な業界への対応にしましては外部講師をお招きしてセミナーを開催しております。また公認会計士・税理士を希望する学生には本学彦根キャンパスOB会である陵水会にお願ひし、現役の公認会計士や税理士の先生をお招きしてセミナーを開催しております。

インターンシッププログラムの開催

ここ数年企業が実施するインターンシップは1日〜3日と短期間で実施されております。これはインターンシップの目的である就業体験を求めるタイプではなく、企業紹介を目的としたもので、今後展開される採用活動のためのものであることは明らかです。しかし、コロナ禍の影響のため民間企業を中心にインターンシップ参加者に有利な配慮が見られる傾向が出てきたため、学生には希望する業界、企業が開催するインターンシップに参加することを促しております。また本来のインターンシップ、開催期間が5日以上の上の就業体験を主な目的とするものは、経済学部生向けには単位付与のあるものを、データサイエンス学部生向けには実際の企業業務を通じた実務経験を積むことのできるインターンシップをそれぞれ大学経由で提供しております。学生が自らの目的に合うインターンシップを選択できるよう環境を整えております。

個別面談の実施

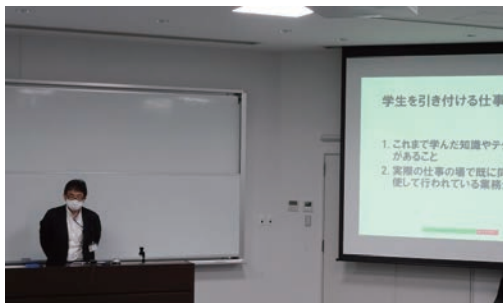
経済学部、データサイエンス学部、共に卒業後は様々な業界に進むこととなりますが、進路に関しては学生一人一人で思い考えることは異なります。それゆえ悩み苦しむことも生じていくための通り道であります。そんな場面において一人一人に寄り添い明かりを照らすことができているのが個人面談です。個人面談は対面方式とZoomによるweb方式を取り入れ、すべての学生に対応できる体制を用意しています。急を要する学生には夜間や休日にも対応しております。また面談の内容によつては保健管理センターの医師、臨床心理士、保健師と連携しながら就職活動だけでなく講義や日常生活に関する課題や問題点にも対応しております。

合同企業説明会・業界セミナーの開催

学生が企業や官公庁の方々から直接情報を入手できるのが会社説明会や業界セミナーです。本学ではこのようなイベントを学内で開催することで学生が効率的に情報を収集することができま。公務員試験対策として国家公務員、地方公務員、専門職公務員、警察などのセミナーを開催して具体的職務内容や試験について知ることができます。民間企業に関しては業界セミナーとして業界を

代表する企業によるその業界全体の強みや面白さを説明していただきま。就職協定上の会社説明会開催日以降は学内において200社程度の企業にお集まりいただき、学生が直接人事担当者から話を聞くことができます。イベントを開催いたします。金融業、製造業、通信インフラ業、情報関連業、商社、小売業、サービス業などこれまで多くの卒業生を採用いただいている企業がここ彦根に集結して学生に情報を提供します。この説明会は経済学部、データサイエンス学部それぞれ分かれて開催します。

このように様々な形態で学生に情報を提供し、一人一人に寄り添う支援を行ってまいります。



企業に対し、実りあるインターンシッププログラムとするためのノウハウを説明する入江教授

就職状況

令和2年度就職状況について

教育・学生支援機構 特命教授

入江 直樹

これまでにない状況下での就職活動は学生にとって戸惑いの連続であったと思います。その中で学生は自らの進路をしっかりと定め、それに向かって努力してまいりました。

データサイエンス学部生は最初の卒業生ということもあり外部からも注目され、他の学生以上の緊張感があつたと思われま。

データサイエンス学部はデータサイエンステキストを輩出することを使命とする学部で、そのための厳しい専門教育プログラムの下、学生は統計検定2級合格など高い目標に向かって学び続けました。結果としてビッグデータを扱う専門職、プログラミング能力を實踐で展開するプログラマー、システムエンジニアという情報職、統計学などの専門知識を武器とする総合職など個々が目指す領域、分野に進むことになりました。また共同研究を通して、またインターンシップを通して仕事や企業を理解して進路を決めた学生もおりました。卒業生の20%が本学大学院や

他大学大学院に進路を決めました。学部で学んだことを更に深めていくことを期待しております。

コロナ禍の影響を受けている業界、旅行、飲食、観光業界などでは採用抑制のために募集人員は極端に減っております。ただこれらの業界を希望する学生は少なく、学生が被った影響は小さいと思われま。進路先業界としては製造業、金融業、通信業、保険業、商社販売業でこれまでと変わらない状況です。ここ数年の傾向は①情報通信業の求人が増加している②各業界で一般職の求人が激減している、ということだと思います。この情報関連企業はこれからのキーワードである「DX」「AI」「IoT」を進めるためには必要不可欠な業界です。今後を見据えて学内合同企業説明会や業界セミナーではこの増加している情報関連企業に参加していただき、多くの学生に業界、企業を知る機会を提供しました。その結果、多くの学生がこの業界に進路を取りました。今後も世の中の動向、外部環境を考慮に入れて学生が未来を感じることができるよう、企業を学生に伝えていく所存でございます。

会社名	計	男	女
138 京セラコミュニケーションシステム㈱	1	1	
139 日本テラデータ㈱	1	1	
140 ㈱テクノア	1	1	1
141 サービス&セキュリティ㈱	1	1	
142 NECソリューションイノベータ㈱	1	1	
運輸業、郵便業			
143 内宮運輸機工㈱	1	1	
144 日本通運㈱	1	1	
145 東京エムケイ㈱	1	1	1
146 佐川急便㈱	1	1	1
147 名古屋鉄道㈱	1	1	
148 WILLER TRAINS㈱	1	1	1
149 ㈱滋澤倉庫	1	1	1
150 センコー㈱	1	1	
151 山九㈱	1	1	1
152 日本交通㈱	1	1	1
153 大阪市高速電気軌道㈱	1	1	1
154 三菱倉庫㈱	1	1	1
155 エムケイ㈱	1	1	1
156 西日本旅客鉄道㈱	1	1	1
157 東海旅客鉄道㈱	1	1	1
158 ㈱丸運	1	1	1
卸売業			
159 丸紅㈱	3	2	1
160 三菱商事㈱	1	1	
161 伊藤忠商事㈱	1	1	
162 双日㈱	1	1	
163 谷村実業㈱	1	1	
164 SPK㈱	1	1	
165 瀬富工業㈱	1	1	
166 檜垣産業㈱	1	1	
167 ㈱シマフンコーポレーション	1	1	
168 ㈱エース電研	1	1	
169 リコージャパン㈱	1	1	
170 中北薬品㈱	1	1	
171 エコトレーディング㈱	1	1	1
172 トヨタモビリティパーツ㈱	1	1	1
173 コンドーテック㈱	1	1	1
174 日曹商事㈱	1	1	1
175 丸大ミート㈱	1	1	1
176 ㈱すみや電器	1	1	1
小売業			
177 アマゾンジャパン合同会社	1	1	
178 ゲンキー㈱	1	1	
179 ㈱ファーストスクウェア	1	1	
180 ㈱ニトリ	1	1	1
181 ㈱ドコモCS東海	1	1	1
182 えぶろんフーズ㈱	1	1	1
183 イオンリテール㈱	2	2	
184 ㈱一真堂書店	1	1	1
185 大黒天物産㈱	1	1	1
186 ゴダイ㈱	1	1	1
187 プレストカスタムコレクション	1	1	1
188 コーナン商事㈱	1	1	1
189 ㈱ドン・キホーテ	1	1	1
190 ㈱ネクスト・ワン	1	1	1
191 ㈱ツルハ	1	1	1
192 ㈱アルペン	1	1	1
193 ㈱セブン・イレブン・ジャパン	1	1	1
194 ㈱ユニクロ	1	1	1
195 アイ・ティ・エックス㈱	1	1	1
196 ㈱ジーユー	1	1	1
金融（銀行）			
197 ㈱滋賀銀行	12	8	4
198 ㈱大垣共立銀行	7	6	1
199 ㈱北陸銀行	1	1	1
200 ㈱百五銀行	1	1	1
201 ㈱京都銀行	3	2	1
202 ㈱関西みらい銀行	1	1	1
203 ㈱十六銀行	6	3	3
204 三井住友信託銀行㈱	3	2	1
205 ㈱みなど銀行	2	1	1
206 ㈱三井住友銀行	1	1	1
207 ㈱みずほ銀行	1	1	1
208 ㈱みずほフィナンシャルグループ	2	1	1
209 ㈱沖縄銀行	1	1	1
金融（協同組織）			
210 京都中央信用金庫	3	1	2
211 大阪信用金庫	1	1	1
212 姫路信用金庫	1	1	1
213 岡崎信用金庫	1	1	1
214 茨城県信用組合	1	1	1
215 大阪府信用農業協同組合連合会	1	1	1
216 商工組合中央金庫	2	2	
217 岐阜商工信用組合	1	1	1
金融（証券）			
218 岡三証券㈱	1	1	1
219 あかつき証券㈱	2	2	
220 ㈱だいがう証券ビジネス	1	1	1
221 SMBC日興証券㈱	1	1	1
222 三縁証券㈱	1	1	1

会社名	計	男	女
53 ㈱ジェイテクト	2	1	1
54 ㈱滋澤鉄工所	1	1	
55 兵神装備㈱	1	1	
56 ㈱松風	1	1	
57 関西イシダ㈱	1	1	
58 日立造船㈱	1	1	
59 ㈱堀場エステック	1	1	
60 三菱重工㈱	1	1	
61 コトプキ技研工業㈱	1	1	
62 ㈱島津製作所	1	1	
製造（電子部品等）			
63 京セラ㈱	2	2	
64 ミネベアミツミ㈱	1	1	
65 ニチコン㈱	1	1	
製造（電気・情報通信）			
66 エレコム㈱	1	1	
67 日本アイ・ピー・エム㈱	1	1	1
68 日本無線㈱	1	1	1
69 ㈱日立製作所	2	2	
70 ㈱パッファロー	1	1	
71 富士通㈱	2	1	1
72 ㈱キーエンス	2	2	
73 フォスター電機㈱	1	1	
74 パナソニック㈱	1	1	1
75 シャープ㈱	1	1	1
76 関西電子工業㈱	1	1	1
製造（輸送用機械）			
77 ヤマハ発動機㈱	1	1	1
78 川崎重工工業㈱	1	1	1
79 豊田鉄工㈱	1	1	1
80 三恵工業㈱	1	1	1
81 ㈱テソーロワイズテック	1	1	1
82 日立Astemo㈱	1	1	1
83 スズキ㈱	1	1	1
84 豊田合成㈱	1	1	1
85 近畿車輛㈱	1	1	1
86 ダイハツ工業㈱	1	1	1
製造（その他製造）			
87 ㈱デグナー	1	1	1
88 日本電気硝子㈱	1	1	1
89 大建工業㈱	1	1	1
90 AGC㈱	1	1	1
91 ㈱イテグチ	2	1	1
92 ヤマトプロテック㈱	1	1	1
光熱水業			
93 関西電力㈱	1	1	1
94 ㈱エナリス	1	1	1
95 中国電力㈱	1	1	1
情報通信業			
96 日本放送協会	1	1	1
97 楽天㈱	1	1	1
98 ㈱NSD	2	2	
99 ㈱システムコーディネイト	1	1	1
100 ㈱アシスト	1	1	1
101 ㈱NEXCOシステムズ	1	1	1
102 ㈱メイケイ	1	1	1
103 富士ソフト㈱	1	1	1
104 三井住友トラストIAソリューション㈱	1	1	1
105 ㈱日立ソリューションズ	1	1	1
106 スミセイ情報システム㈱	5	1	4
107 NRIネットコム㈱	1	1	1
108 ㈱ナビオコンピュータ	1	1	1
109 ㈱オービーシステム	1	1	1
110 ㈱ニッセイコム	1	1	1
111 ㈱WAVE	1	1	1
112 ㈱日立医薬情報ソリューションズ	1	1	1
113 西日本電信電話㈱	1	1	1
114 ㈱シティ・コム	1	1	1
115 ㈱日立システムズ	1	1	1
116 ㈱システマ	1	1	1
117 ㈱開電システムズ	1	1	1
118 フラットシステムソリューションズ㈱	1	1	1
119 ニッセイ情報テクノロジー㈱	1	1	1
120 日本コンピュータシステム㈱	1	1	1
121 スターディアラボ㈱	1	1	1
122 ㈱セソ情報システムズ	1	1	1
123 ㈱フロムスクラッチ	1	1	1
124 共立コンピュータサービス㈱	2	2	
125 ㈱電算システム	1	1	1
126 ㈱NITデータ関西	1	1	1
127 ㈱大塚商会	2	1	1
128 ㈱Inoriソリューションズ	1	1	1
129 コンピューターマネージメント㈱	1	1	1
130 ㈱ソフィア	1	1	1
131 富士通クラウドテクノロジーズ㈱	1	1	1
132 住友電工情報システム㈱	1	1	1
133 ㈱クリエイトラボ	1	1	1
134 ㈱ソフトウェアシステム	1	1	1
135 キヤノンITソリューションズ㈱	2	1	1
136 ㈱フューチャーイン	1	1	1
137 東邦ガス情報システム㈱	1	1	1

令和2年度就職状況【経済学部】

○進路別内訳 令和3年5月1日現在

		計	男子	女子
卒業生		525	340	185
進学者	大学院	7	6	1
	大学学部等	0	0	0
	専修学校等	5	4	1
就職者	企業就職	410	265	145
	公務員	57	35	22
その他		13	5	8

進学先・就職先一覧【経済学部】

○進路先内訳

進路先	計	男	女
進学			
1 北海道大学大学院 文学院	1	1	
2 滋賀大学 大学院 経済学研究科	1	1	
3 名古屋大学大学院 環境学研究科	1		1
4 滋賀大学大学院 データサイエンス研究科	1	1	
5 大阪大学大学院 国際公共政策研究科	2	2	
6 神戸大学大学院 経済学研究科	1	1	

○就職先内訳（産業別・業種別）

会社名	計	男	女
農業、林業			
1 タキイ種苗㈱	1	1	
建設業			
2 鹿島建設㈱	1	1	
3 ㈱きんでん	1	1	
4 ダイダン㈱	1	1	
5 日本道路㈱	1	1	
6 清水建設㈱	1	1	
7 トヨタホーム㈱	1	1	
8 ㈱ミライト	1	1	
9 名古屋高速道路公社	3	3	
10 共同エン지니어リング㈱	1	1	
11 ミサワホーム中国㈱	1	1	
12 旭化成ホームズ㈱	1	1	
13 トヨタホーム愛知㈱	1	1	
14 大成建設㈱	1	1	
15 五洋建設㈱	1	1	
16 ㈱誠進堂	1	1	
製造（食料・飲料等）			
17 山崎製パン㈱	1	1	
18 UCC上島珈琲㈱	1	1	
19 ㈱日清製粉グループ本社	1	1	
20 三菱食品㈱	1	1	
21 養命酒製造㈱	1	1	
22 ㈱伊藤園	1	1	
23 ㈱タカキベーカーリー	1	1	
24 サントリービバレッジサービス㈱	1	1	
25 ㈱Mizkan J plus Holdings	1	1	
製造（繊維工業）			
26 ㈱グンゼ	1	1	
製造（化学・石油等製品）			
27 ㈱ニフコ	1	1	
28 花王㈱	1	1	
29 住友ゴム工業㈱	1	1	
30 三菱ガス化学㈱	1	1	
31 アース製薬㈱	1	1	
32 協和キリン㈱	1	1	
33 丸石化学㈱	1	1	
34 ㈱クラレ	1	1	
35 綜研化学㈱	1	1	
36 住友理工㈱	1	1	
37 日本バイオロジック株式会社	1	1	
38 豊ファインバック㈱	1	1	
39 田辺三菱製薬㈱	1	1	
40 ㈱山口化成	1	1	
41 大日精化工業㈱	1	1	
製造（鉄鋼・非鉄金属等）			
42 大阪富士工業㈱	1	1	
43 ㈱シブタニ	1	1	
44 住友電気工業㈱	3	2	1
45 松尾バルブ工業㈱	1	1	
46 日立金属㈱	1	1	
47 東京製鋼㈱	1	1	
48 紀州ファスナー㈱	1	1	
49 リンナイ㈱	1	1	
50 福栄鋼材㈱	1	1	
製造（はん用・業務用）			
51 菱電エシベータ施設㈱	1	1	
52 ニプロ㈱	1	1	

○就職先内訳 (産業別・業種別)

Table with columns: 会社名, 計, 男, 女. Lists various industries like 建設業, 製造業, 情報通信業, etc.

Table with columns: 会社名, 計, 男, 女. Lists specific companies and public institutions like 日本郵便, 全国農業協同組合連合会, etc.

令和2年度就職状況 【データサイエンス学部】

Table showing employment status by gender (計, 男子, 女子) for graduates, students, and job seekers.

進学先・就職先一覧 【データサイエンス学部】

Table listing advanced study and employment destinations with columns: 進学先, 計, 男, 女.

Large table with columns: 会社名, 計, 男, 女. Lists a wide range of companies and organizations including 楽天証券, みずほ証券, etc.



「滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度」は、スポーツ・文化活動、勉学等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体を報奨することにより、学生諸君の日頃の勉学等を支援し、資質の向上に資することを目的に、平成26年度から開始した制度です。

下表に記載しておりますサポート対象基準を満たすことにより、その功績を称え報奨金を給付するもので、これまでに335件に対して給付いたしました。報奨された学生からは「更なるステップアップのため資金としたい。」等との頼もしい発言もあり、今後も、多くの学生諸君からの応募を期待しております。

学生諸君には、別途、学内においてお知らせしていますが、保護者の皆さまにおかれましても、ぜひ本制度をお子様にお伝えいただきたく存じます。

今後も、より良き制度に改善して行きたく、会員の皆さまからのご意見等をお待ちしております。

【お問い合わせ】
 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部共通事務部総務・企画係
 TEL 0749-2711030

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度

- 趣旨
 この制度は、スポーツ・文化活動、勉学等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体を報奨することにより、学生の日頃の勉学等を支援し、資質の向上に資することを目的とする。
- ガイドライン
 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度の運用にあたり、次のとおりガイドラインを定める。
 なお、報奨額については、年度毎の申請者総数に基づき、ガイドラインに示す額を上限とし予算の範囲内において決定する。

分類	サポート対象事項	基準	報奨額(上限)
資格・認定試験	1. 日商簿記検定試験	「一級」合格者	70,000円
	2. 税理士試験 (申請は、基準①、②のいずれか1回に限る。)	①会計学に属する科目の中から、いずれか1科目合格者	30,000円
		2科目同時合格者	50,000円
	3. 公認会計士試験	②税法に属する科目の中から、いずれか1科目合格者	40,000円
		「短答式試験」合格者	50,000円
	4. 証券アナリスト試験	「論文式試験」合格者	100,000円
		「第1次レベル試験」合格者	30,000円
5. データベーススペシャリスト試験	「第2次レベル試験」合格者	40,000円	
	合格者	50,000円	
6. 品質管理検定	「一級」合格者	50,000円	
	7. 統計検定「一級」	「統計数理」、「統計応用」のいずれか1科目合格者	50,000円
7. 統計検定「一級」		2科目目合格者	20,000円
	語学試験	8. TOEIC (公開テスト) (原則として、編入学試験又は帰国子女入試枠での入学者及び外国人留学生は除く。)	800点以上
9. 留学		900点以上	50,000円
	9. 本学交換留学制度に基づく海外留学 (平成31年4月1日以降出発の陵水会「グローバルリーダー育成」陵水奨学金受給者は除く。)	アジア圏	40,000円
その他		その他	80,000円
	10. スポーツ・文化活動、勉学等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体、又は、上記1～8に相当すると思われる事項	申請に基づき、後援会役員会で審査のうえ、決定する。	

注) ①「資格試験・認定試験」については、同一基準での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。ただし、税理士試験については、基準①、②のいずれか1回限りとする。

②「語学試験」については、同一言語での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。また、試験言語を、母語とする者は申請できない。

③編入学試験又は帰国子女入試枠で学部に入学者及び外国人留学生が、語学試験で申請する場合は、事前に問い合わせることとする。

④「本学交換留学制度に基づく海外留学」については、平成31年4月1日以降出発の陵水会「グローバルリーダー育成」陵水奨学金受給者、滋賀大学経済学部学術後援基金助成金受給者及び(独)日本学生支援機構の海外留学支援制度(協定派遣)奨学金受給者で受給期間が3月を超える者は申請できない。

⑤「その他」の資格申請(第2次試験合格をもって資格取得となる中小企業診断士等)の基準については、2次レベル試験合格者とし、報奨額は50,000円とする。

⑥対象者は、経済学部、データサイエンス学部及び経済学研究科、データサイエンス研究科の正規の課程に在籍する学生で(休学中を含む。)在籍期間中に、後援会が定める基準を満たした者とする。ただし、入学年度の9月末日(秋学期入学の場合は、入学年度の12月末日)時点で後援会費を未納の場合は対象としない。

⑦報奨額については、経済学部・データサイエンス学部後援会役員会の議を経て調整することができる。

⑧本ガイドラインの改廃は、経済学部・データサイエンス学部後援会役員会の議を経て決定する。

後援会総会

本後援会の通常総会は、後援会規約第14条第1項において、毎年入学式当日に開催することになっておりますが、昨今の社会情勢に鑑み、昨年度に引き続き、今年度も中止せざるを得ませんでした。この場をお借りして、改めてお詫び申し上げます。

また、本紙13、14ページ記載の「令和2年度決算、令和3年度予算案及び令和3年度役員」につきましては、同規約第13条第1項において総会でご審議頂くべきところですが、同規約第14条第3項において「通常総会が開催できないときは、役員会の開催をもって代えることができる」ことから、5月31日付で役員会承認とさせていただいた旨、ご報告申し上げます。

新体制で後援会を益々盛り上げていく所存でございますので、皆様、一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、内容に関するご意見・ご質問等につきましては、以下にお問い合わせください。

【お問い合わせ】滋賀大学 経済学部・データサイエンス学部共通事務部総務・企画係 TEL 0749-27-1030

令和2年度 経済学部・データサイエンス学部後援会 収支報告

収入

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	6,090,989	
会費（学部新入生）	12,719,000	553人×@23,000
会費（編入生）	230,000	20人×@11,500
会費（大学院新入生・前期）	402,500	35人×@11,500
会費（大学院新入生・後期）	34,500	2人×@17,250
利息	122	
収入合計	19,477,111	

支出

(単位：円)

科目	予算額	決算額	過不足額	備考
① 厚生体育費補助	2,960,000	890,537	2,069,463	課外活動等補助
② 文化活動費補助	1,320,000	626,580	693,420	滋大祭、課外活動等補助
③ 学生研究調査費補助	70,000	7,500	62,500	学生懸賞論文副賞
④ 学務関係補助	3,500,000	961,514	2,538,486	TOEIC-IP受験補助、成績送付経費等
⑤ 就職補助費	900,000	900,000	0	合同企業説明会等参加経費補助
⑥ 団体分担金	240,000	34,090	205,910	会費、学会開催経費等補助
⑦ 研究所等補助	410,000	410,000	0	資料購入、運営費等補助
⑧ 入学式・卒業式等経費	260,000	142,030	117,970	役員会経費、その他経費補助
⑨ 広報費	600,000	511,130	88,870	後援会だより印刷費、送料
⑩ 渉外費	350,000	143,650	206,350	学部事業補助、慶弔費等
⑪ 総務費	30,000	28,920	1,080	通信費等
⑫ 外国人留学生後援会援助費	100,000	0	100,000	
⑬ 資格取得等報奨金	2,200,000	2,200,000	0	
⑭ 学部記念事業援助費積立	100,000	100,000	0	
⑮ 情報教育充実費	1,000,000	830,116	169,884	
⑯ 予備費	5,437,111	487,822	4,949,289	
支出合計	19,477,111	8,273,889	11,203,222	

令和2年度 図書充実費予算

収入

支出

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	304,922	
会費（学部新入生）	553,000	553人×@1,000
会費（編入生）	10,000	20人×@500
会費（大学院新入生・前期）	17,500	35人×@500
会費（大学院新入生・後期）	1,500	2人×@750
利息（8月分）	3	
利息（2月分）	1	
収入合計	886,926	

科目	決算額	備考
図書購入費等	676,394	
次年度繰越金	210,532	
支出合計	886,926	

令和2年度 体育充実費予算

収入

支出

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	388,739	
会費（学部新入生）	553,000	553人×@1,000
会費（編入生）	10,000	20人×@500
会費（大学院新入生・前期）	17,500	35人×@500
会費（大学院新入生・後期）	1,500	2人×@750
利息（8月分）	3	
利息（2月分）	3	
収入合計	970,745	

科目	決算額	備考
近国体分担金等	258,000	
次年度繰越金	712,745	
支出合計	970,745	

令和2年度 資格取得等報奨金予算

収入

支出

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越額	2,094,331	
資格取得等報奨金 会費	2,200,000	
利息（8月分）	13	
利息（2月分）	11	
収入合計	4,294,355	

科目	決算額	備考
支出額	2,183,110	
次年度繰越金	2,111,245	
支出合計	4,294,355	

令和3年度 経済学部・データサイエンス学部後援会予算

収入

(単位：円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	11,203,222	
会費(学部新入生)	12,604,000	548人×@23,000
会費(編入生)	230,000	20人×@11,500
会費(大学院新入生・前期)	575,000	50人×@11,500
会費(大学院5年一貫・前期)	5,750	1人×@5,750
会費(大学院新入生・後期)	51,750	3人×@17,250
利息(見込)	120	
収入合計	24,669,842	

支出

(単位：円)

科目	予算額	備考
①厚生体育費補助	2,960,000	近国体運営費、大会出場者交通費、課外活動等補助
②文化活動費補助	1,320,000	開学祭、滋大祭、課外活動等補助
③学生研究調査費補助	70,000	学生懸賞論文副賞、優秀卒業論文副賞
④学務関係補助	3,500,000	学務関係諸経費補助、TOEIC-IP受験補助、成績送付経費等
⑤就職補助費	900,000	合同企業説明会等参加経費補助
⑥団体分担金	240,000	会費、学会開催経費等補助
⑦研究所等補助	410,000	資料購入、運営費等補助
⑧入学式・卒業式等経費	200,000	入学式、総会経費、卒業式経費補助
⑨広報費	600,000	後援会だより印刷費、送料
⑩渉外費	350,000	学部事業補助、慶弔費等
⑪総務費	30,000	通信費等
⑫外国人留学生後援会援助費	100,000	滋賀大学基金へ寄附
⑬資格取得等報奨金	2,200,000	
⑭学部記念事業援助費積立	100,000	
⑮情報教育充実費	1,000,000	
⑯予備費	10,689,842	
支出合計	24,669,842	

令和3年度 図書充実費予算

収入

支出

(単位：円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	210,532	
会費(学部新入生)	548,000	548人×@1,000
会費(編入生)	10,000	20人×@500
会費(大学院新入生・前期)	25,000	50人×@500
会費(大学院5年一貫・前期)	250	1人×@250
会費(大学院新入生・後期)	2,250	3人×@750
利息(見込)	4	
収入合計	796,036	

科目	予算額	備考
図書購入費等	600,000	
予備費	196,036	
支出合計	796,036	

令和3年度 体育充実費予算

収入

支出

(単位：円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	712,745	
会費(学部新入生)	548,000	548人×@1,000
会費(編入生)	10,000	20人×@500
会費(大学院新入生・前期)	25,000	50人×@500
会費(大学院5年一貫・前期)	250	1人×@250
会費(大学院新入生・後期)	2,250	3人×@750
利息(見込)	6	
収入合計	1,298,251	

科目	予算額	備考
近国体分担金	330,000	
ゴルフ実習費	100,000	
スキー教室経費	200,000	
予備費	668,251	
支出合計	1,298,251	

令和3年度 資格取得等報奨金予算

収入

支出

(単位：円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	2,111,245	
資格取得等報奨金 会費	2,200,000	
利息(見込)	24	
収入合計	4,311,269	

科目	予算額	備考
資格取得等報奨金	2,200,000	
次年度繰越予定額 (資格取得等報奨金分)	2,111,269	
支出合計	4,311,269	

令和3年度 後援会役員名簿

会長	戸田 茂	幹事	田中 伸英	委員	山川 友美
副会長	伊藤 正之	幹事	土井 忠史	委員	村松 由美
副会長	尾上志津夫	委員	毛利 哲也	委員	高松真喜子
幹事	寺橋 豊重	委員	近井はるみ	監事	松橋 勇次
幹事	堀部 千夏	委員	森野 陽子	監事	西田 隆弘
幹事	和田 恵美	委員	村木 雅直		

編集後記

後援会だよりは次のURLでもご覧頂けます。
<https://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters.html>
 記事の感想や要望、後援会や経済学部・DS学部
 に対する要望、ご意見等をお聞かせください。
 (送付先)
 滋賀大学
 経済学部・DS学部共通事務部総務・企画係
 E-mail ksyomu@biwako.shiga-u.ac.jp
 FAX 0749-27-1132

令和3年度 学年暦・主要な行事 (予定)

《春学期》	月	日(曜日)	授業関係	就職関係	その他
3	22(月) 26(金)		成績発表(サクセス(Web)で確認)		第1回滋賀大学グローバルセミナー 留学生オリエンテーション
4	2(金) 5(月) 6(火) 7(水) 23(金) 26(月)		入学式(びわ湖ホール) 新入生オリエンテーション 春学期授業開始	公務員志望者向け就職ガイダンス	新入生オリエンテーション、令和2年度入学生の集い 第2回滋賀大学グローバルセミナー 第3回滋賀大学グローバルセミナー 海外留学説明会(留学WEEK) 第4回滋賀大学グローバルセミナー
5	10(月) ~ 中旬 13(木) 21(金) 31(月)	14(金)		就職説明会(キックオフ宣言)(3回生)【データサイエンス学部】 就職説明会(キックオフ宣言)(3回生)【経済学部】	開学記念日 第5回滋賀大学グローバルセミナー
6	中旬 下旬 26(土)		成績優秀者表彰式 授業日(月曜日の授業)	第1回就職ガイダンス(3回生) 第2回就職ガイダンス(3回生)	
7	上旬 3(土) 4(日) 中旬 10(土) 17(土) 22(木) 24(土)		授業日(火曜日の授業) 補講日 補講日 春学期授業終了 春学期試験(予備日を含む)	自己分析セミナー 留学生対象就職活動ガイダンス	フレッション・キャンピング 第6回滋賀大学グローバルセミナー
8	中旬 7(土) ~	9/30(木)	夏季休業、集中講義 新入生履修説明会・相談会		外国人留学生対象進学説明会
9	中旬 中旬 下旬		成績発表(サクセス(Web)で確認)		第7回滋賀大学グローバルセミナー 国際フォーラム SFA(学生・教員協議会)

(注) 変更される場合があります。

その他の情報は
大学のホームページから



滋賀大学のトップページ
<https://www.shiga-u.ac.jp/>

メニューバー

→ 在学生・保護者の方

-
- ◇ 通知を見る(休講・補講等)
 - ◇ 学習について調べる(学年暦等)
 - ◇ 大学の支援を調べる(奨学金・授業料免除等)
 - ◇ 就職・資格について調べる(取得できる資格等)
 - ◇ 大学生生活を調べる(住居・課外活動・アルバイト等)
 - ◇ 滋賀県と滋賀大学を知る(広報誌しがたい等)

《 秋学期 》

月	日(曜日)	授業関係	就職関係	その他
10	1(金)	秋学期授業開始 経済学研究科博士後期課程D3中間研究報告会	SPI対策講座	第8回滋賀大学グローバルセミナー 定例学生総会、体育総会、文芸連総会 学内セミナー大会 榎本杯争奪駅伝大会 大学祭
	上旬		第3回就職ガイダンス(3回生)	
	中旬			
11	23(土)	授業日(月曜日の授業) 経済学研究科博士後期課程D2研究報告会 彦根地区キャンパスバス休講		
	下旬		第4回就職ガイダンス(3回生)	
	30(土)		3回生就職希望者の個別進路面談(3回生)	
12	1(金)	1/3(月) 冬季休業、集中講義		
	中旬		第5回就職ガイダンス(3回生)	
	下旬		第6回就職ガイダンス(3回生)	
1	4(火)	授業再開	第7回就職ガイダンス(3回生)	2022年春受入れ交換留学申請者面接
	上旬		若手卒業生による就活相談会	
	8(土)	補講日	第8回就職ガイダンス(3回生)	
2	14(金)	16(日) 休講及び入構禁止(大学入学共通テスト準備及びひすた)		
	22(土)	補講日		
	26(水)	27(木) 秋学期授業終了 秋学期試験(予備日を含む)	女子学生のための陵水キャリアガイダンス(3回生)	第10回滋賀大学グローバルセミナー SFA(学生・教員協議会)
3	24(木)	26(土) 入構禁止(前期日程入学試験準備及び試験)		
	中旬		彦根キャンパス学内就職セミナー【学内合同企業説明会】(3回生)	第11回滋賀大学グローバルセミナー
	11(金)	12(土) 入構禁止(後期日程入学試験準備及び試験) 卒業式(びわ湖ホール)		卒業祝賀会

(注) 変更される場合があります。

これらに関するご質問、
こちらへお問い合わせ
ください



<p>○授業・休学・退学に関すること 学務課教務係 0749-27-1031(ダイヤルイン)</p> <p>○授業料免除・奨学金に関すること 学務課教務係(大学院担当) 0749-27-1032(ダイヤルイン)</p>	<p>○学生生活・クラブ活動等に関すること 学生支援課学生支援係 0749-27-7530(ダイヤルイン)</p> <p>○就職・進学に関すること 学生支援課就職係 0749-27-1021(ダイヤルイン)</p>	<p>○留学に関すること 国際交流課 0749-27-1430(ダイヤルイン)</p> <p>障がい学生支援室 0749-27-8166(ダイヤルイン)</p>
---	---	--